#### 第28回海岸シンポジウム

# 津波防災のハード・ソフト対策

津波や高潮の脅威にさらされている我が国において、国土や国民の生命、財産を防護する 海岸保全施設の整備は極めて重要なものです。

本年1月1日に発生した能登半島地震をはじめ、毎年のように地震や台風による自然 災害が発生し、沿岸部の安全を脅かしています。また、近い将来、南海トラフ地震、首都直 下地震、日本海溝・千島海溝型地震等の大規模地震が発生する危険性が指摘されており、 それに伴う津波や高潮・高波などの災害リスクに対し、今後とも、沿岸部における防災機 能の強化と減災対策の推進を図っていく必要があります。

このため、本年度のシンポジウムでは、テーマを「津波防災のハード・ソフト対策」とし て、能登半島地震における被害と復旧・復興活動に関する報告と、地方自治体及び民間の それぞれの津波防災対策についての事例を紹介することにより、沿海市町村等海岸事業 関係者の海岸・防災行政の意識啓発を目的とし、今後の津波防災対策の促進に資するもの とします。

## プログラム

13:00~ 13:05

全国海岸事業促進連合協議会 会長 磯部 雅彦

(高知丁科大学名誉教授・東京大学名誉教授)

#### 第1部:能登半島地震津波について

13:05~ 13:45

【特別講演】能登半島地震津波の現地調査報告

金沢大学 理工研究域 地球社会基盤学系 教授 由比 政年

13:45~ 13:55

<sup>【特別講演】</sup>能登半島地震津波被害からの復旧・復興支援

水産庁 事業課 直轄代行チーム 漁港漁場専門官 西村 裕毅

#### 第2部: 津波防災のハード・ソフト対策

13:55~ 14:35

【事例紹介】高知県の海岸事業について

14:35~

(休憩:10分)

14:45~ 15:25

【事例紹介】 津波地域防災づくりについて

15:25~ 16:05

【事例紹介】東日本大震災の記憶の継承について

16:05~

まとめ・閉会挨拶

磯部 雅彦



日時

令和6年**11**月**28**日[末] 13:00~16:10 [受付開始] 12:00

星陵会館 [東京都千代田区永田町2-16-2]

主催:全国海岸事業促進連合協議会 土木学会CPD認定プログラム

#### 能登半島地震津波の現地調査報告



由比 政年 (ゆひ まさとし)

金沢大学 理工研究域 地球社会基盤学系 教授

略歴

1989年 京都大学大学院工学研究科修士課程 航空工学専攻修了

1989年 マツダ株式会社・開発本部 研究員

1994年 金沢大学 助手

1999年 米国マサチューセッツ工科大学・環境土木工学科

Visiting Scientist

2008年 金沢大学理工研究域地球社会基盤学系・教授 博士(工学)

受賞歴 (学術賞等)

海岸工学論文賞(2024), 土木学会賞(論文賞)(2022), 海岸工学論文賞(2019), Coastal Engineering Journal Award of 1998(1999),

日本工学教育協会賞(著作賞)(2006)

### 能登半島地震津波被害からの復旧・復興支援

西村 裕毅 (にしむら ひろき)

水産庁漁港漁場整備部事業課 能登半島地震災害復旧直轄代行チーム 漁港漁場専門官

# 高知県の海岸事業について



岡本 通伸(おかもと みちのぶ) 高知県 土木部 港湾・海岸課長

略歴

1987年3月 国立高知工業高等専門学校卒業 1992年4月 民間経験を経て、高知県庁入庁

2017年4月 高知土木事務所 港湾管理課長

2022年4月 土木政策課 土木企画監

2024年4月 港湾·海岸課長(現職)

#### 津波地域防災づくりについて



菅原 正浩 (すがわら まさひろ)

気仙沼市 ガス上下水道部長

略歴

1967年生まれ

1990年4月 気仙沼市入庁

総務部税務課,会計課,総務部総務課,建設部計画·調整課

2017年4月 建設部計画・調整課長

2018年4月 経営管理部長

2024年4月 ガス上下水道部長(現職)

## 東日本大震災の記憶の継承について



岡本 翔馬 (おかもと しょうま)

認定特定非営利活動法人桜ライン311代表理事

略歴

・1983年2月生まれ、陸前高田市高田町出身。

・東日本大震災直後に故郷の同市にUターンし、団体を創設して会社員から転身。

NPOによるまちづくり/地域おこし、その経営に専門性を持ち他分野のNPOの設立/運営にも携わる。

桜ライン311の代表理事として全国各地での講演活動等を実施。

・2016年3月に防災士、2018年8月には準認定ファンドレイザーを取得。